

草津市立草津宿街道交流館 開館20周年記念 大草津展

meet the history and culture of Kusatsu

- 考古編 -

問 草津宿街道交流館(草津三)
☎567-0030、FAX567-0031

もの くさつ遺物がたり

～土の中からのおくりもの～

草津宿街道交流館は開館20周年。これを記念して、今年度は3つの20周年特別展示を開催しています。第3弾は考古編。市内の発掘調査では縄文時代から江戸時代までの遺物が見つかっています。これらの長い年月を経て、奇跡的に見つかった遺物が物語る、草津の歴史を紹介します。

🕒 12月7日(土)～来年1月26日(日) 9:00～17:00

※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

所 草津宿街道交流館(草津三) ¥ 入館料(土曜日は小・中学生無料)

他 学芸員による展示解説会

12月7日(土)、来年1月13日(月・祝) 各14:00～

期間中のイベント

みなくさ夜学【考古編】 - 草津の古代を掘る2019 -

草津宿街道交流館の夜間出張ギャラリートーク。市内の発掘調査成果と今年度の最新の成果について話します。

🕒 12月6日(金) 19:00～20:00

所 市民交流プラザ(野路一)

問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX561-2488

20周年記念ワークショップ ちゅうやう 铸造たいけん

「铸造」の技術をつかって、手づくりろうそくを作ってみよう!

🕒 12月14日(土) 14:00～16:00

所 草津川跡地公園 de 愛ひろば(大路二)

対 小・中学生(小学生は保護者同伴)

定 20人(先着順) 申 前日まで

くさつ 歴史ギャラリー 146

問 歴史文化財課(6階)
☎561-2429、FAX561-2488

すえき 須恵器は時代のものさし

今回紹介する土器は大定木遺跡(青地町)から出土した須恵器です。須恵器とは、以前にも紹介しましたが、古墳時代中頃～平安時代にかけて、生産された土器の一つです。須恵器が作られる以前から存在する、野焼きされた軟質の土器(土師器など)とは異なり、登り窯を利用して、青灰色の硬質に焼かれた土器です。須恵器は硬質なため、遺跡から出土した際も保存の状態が良いことや、年代により器の種類や形などが変化することから、遺跡や遺構の年代を判断するものさしの一つとして利用されています。

今回紹介する須恵器が出土した大定木遺跡の調査では、古墳が4基確認されましたが、墳丘の上部が削られて周りの溝が残るのみでした。溝からは、須恵器や、土師器、動物形木製品などが出土しています。このうち高坏という種類の須恵器は、器の形状や大



▲大定木遺跡から出土した須恵器(高坏)

きさ、脚部の透かし部分の形など5世紀後半～末頃の特徴を持つことから、古墳はその時期に作られたと推定できます。須恵器は、多くの遺跡で出土するため、遺跡の年代や性格を知る上で重要な土器といえます。

この資料は、12月7日(土)から草津宿街道交流館で開催する草津宿街道交流館開館20周年記念展「考古編」くさつ遺物がたり～土の中からのおくりもの～」で、他の時代の須恵器とあわせて展示します。ぜひ見比べに来てください。

10月31日現在(対前月比) 人口134,689人(+31) 男67,623人(-17) 女67,066人(+48) 世帯数59,258世帯(+24)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中

